

2 研究の実際

(3) 道徳科の評価の考え方

ア 「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」
に示された評価の考え方

(ア) 評価の意義

- ・ 児童生徒に自身の学習状況や道徳性に係る成長を確かめさせ、その努力を支援する。
- ・ 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長に対する共感的な理解を基に、自らの指導を評価し、指導方法の改善に努める。

(イ) 評価の基本的態度

- ・ 教師が確かな指導観をもち、1 単位時間の授業で期待する児童生徒の学習を明確にした指導計画が必要である。
- ・ 道徳科で養う道徳性は、個人の問題に関わるものであり、どれだけ道徳的価値を理解したかなどの基準を設定することはふさわしくない。
- ・ 児童生徒自身による自己評価を充実し、常に児童生徒を受容し尊重する共感的かつ確かな児童生徒理解に基づく道徳性の評価を心掛ける。
- ・ 道徳性の評価の基盤には、教師と児童生徒との人格的な触れ合いによる、共感的な理解が存在することが重要である。
- ・ 児童生徒が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組むきっかけとなるような評価を目指す。
- ・ 道徳性は、個人内の成長の過程を重視する。

(ウ) 道徳科に関する評価

- ・ 数値による評価ではなく記述式
- ・ 相対評価ではなく個人内評価
- ・ 比較して優劣を決める評価はなじまない
- ・ 内容項目ごとではなく大きくくりなまとまりを踏まえた評価
- ・ 発達障害等の児童生徒についての配慮すべき観点等の共有
- ・ 指導要録の書式における既存の欄も含めて、その在り方を見直す

(エ) 道徳科の授業に対する評価

明確な意図をもって指導方法の計画を立て、学習指導過程で期待する児童生徒の学習を具体的な姿で表したものが観点となる。その観点としては、以下のものが考えられる。

- ・ 自己を見つめ、自己(人間として)の生き方について考えを深められるように構成され、指導の手立ては適切であったか。
- ・ 児童生徒が多面的・多角的に考えていたか。
- ・ 発問は、指導の意図に基づいて的確になされ、児童生徒の反応を適切に生かしていたか。
- ・ 児童生徒の発言を傾聴し、受け止めようとしていたか。
- ・ 特に配慮を要する児童に適切に対応していたか。

イ 本研究における評価の考え方

(ア) 道德科に関する評価(児童生徒に関わる評価)

児童生徒の授業前、授業中、授業後の道徳的価値に対する意識の変容を見取り、評価するために以下の手立てを考えました(図 1)。

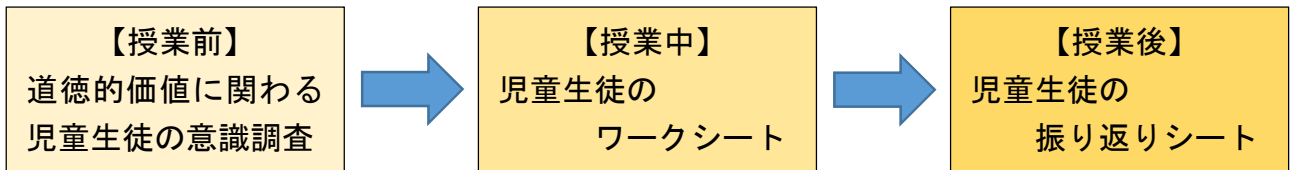


図 1 評価のための手立ての流れ

意識調査、ワークシート、振り返りシートにおいて、ねらいとする道徳的価値に関わる児童生徒の記述がどのように変容したかを見取ることによって評価に生かすことができると考えました。本研究では、児童生徒の変容を見取る視点(評価の観点)として、「自己を見つめることができたか」「道徳的価値に関わる問題を多面的・多角的に考えることができたか」「自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深めることができたか」の3つを設定しました。

児童生徒が記述したものをファイリングし、整理しておくことで、一人一人がどのように変容し、どのような自己評価を行っているかを把握できると考えます。また、1時間の授業での変容だけでなく複数時間の授業を踏まえた児童生徒の変容を見取ることができ、複数の内容項目を含めた大くくりなまとまりとしての評価に生かすことができると考えます。

さらに、児童生徒の記述した内容を基に、記述式の評価を考えることができます。児童生徒にとっては、ファイリングしたものを定期的に振り返らせることで、児童生徒が自身の学習状況や道徳性に係る成長を客観的に捉えることができ、道徳的実践への意欲を継続していけると考えます。

a 意識調査について

小・中学校の内容項目を踏まえた質問項目を設定し、今の自分自身がどの程度できているかについて自己評価をさせました。また、具体的な経験や体験が思い浮かぶものについては理由まで記述させました。これを、授業中に記述させたワークシートの内容、授業後に記述させた振り返りシートの内容と比較することで、児童生徒の変容を見取るようにしました(図 2)。

生活アンケート		日ごろの学校や家庭生活をふり返って、すなおに答えてください。次の1～22までの質問で、よくできているものには○、だいたいできているものには△、あまりできていないものには△、全くできていないものには×を書いてください。また、理由については、具体的な経験や体験が思い浮かぶものについて書いてください。	
番号	質問項目	◎ ○ △ ×	理由
()年()組()番 名前() A 自分自身に関すること			
1	正しいこととまちがっていることを自分で考えて判断し、自分の行動に責任をもって行動している。		
2	うそをついたりごまかししたりしないで、正直に明るい心で生活している。		
3	健康や安全に気を付け、物やお金を大事にし、規則正しく生活している。		
4	自分の悪いところは直そうとし、よいところは伸ばそうとしている。		
5	勉強や運動、仕事など自分でやろうと決めた目標に向かってねばり強く、くじけずに努力している。		
6	人として行うべき正しいことを大切にし、生活をよりよくするためのアイデアを考えている。		
B 人との関わりに関すること			
7	誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしている。		
8	日々の生活が家族や多くの人から支えられていることに感謝し、みんなのために自分ができることを考えて行動している。		

図 2 意識調査(生活アンケート)の一部

b 振り返りシートについて

3つの視点について授業の中で自己の考えを深めることができたかを自己評価させました。シートへの記入は授業後に行い、事前調査と授業中に記述させたワークシートの内容と比較することで、児童生徒の変容を見取るようにしました(図3)。



		道徳 振り返りシート			
  <p>このシートは、これからの道徳の授業を より楽しくするために どうしたらよいかを 知るためのものです。次の1～9までの質問で、あなたの気持ちに いちばん近いものに ○をつけてください。</p> <p>()月()日 ()年()組 名前()</p>					
I 自己を見つめることについて		4	3	2	1
1	資料中の問題を自分のこととしてとらえることができましたか。	よく できた	だいたい できた	あまり できな かった	まったく できな かった
2	問題に対してどのように考え、行動するか書く(選ぶ)ことができましたか。	できた			できな かった
3	なぜそのように考え、行動するのか理由を書くことができましたか。	よく できた	だいたい できた	あまり できな かった	まったく できな かった
II 話し合うこと・考えることについて		4	3	2	1
4	自分の考えを友達に伝え、友達の考えをきくことができましたか。	よく できた	だいたい できた	あまり できな かった	まったく できな かった
5	話し合いをして、友達の考えとその理由を理解することができましたか。	よく 分かった	だいたい 分かった	あまり 分から なかった	まったく 分から なかった
6	友達と話し合ったことで自分の考えが増えたり、強くなったり、変わったかと思いませんか。	とても そう思う	少し そう思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない
III 自己の生き方について		4	3	2	1
7	○○について学んだことや心に残ったことはありましたか。	たくさん あった	少し あった	あまり なかった	まったく なかった
8	○○についてこれまでの自分を振り返ることができましたか。	よく できた	だいたい できた	あまり できな かった	まったく できな かった
9	○○について学んだことや心に残ったことをこれからの生活で生かしていきたいと思いませんか。	とても そう思う	少し そう思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない
*○○の部分にはねらいとする内容項目が入ります。					

図3 振り返りシート

(イ) 道徳科の授業に対する評価(教師の指導に関わる評価)

学習指導要領解説の評価の意義で示されているように、まずは児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長を共感的に理解することが大切であると考えます。そのことを踏まえ、児童生徒の記述内容をねらいとする道徳的価値に照らして、どのように変容したのかを全体的に捉えることが必要になります。本研究では、児童生徒の変容を見取る視点を基に、学級全体でどのような変容が見られたのかを捉えるようにしました。

この結果を踏まえて、「適切な発問であったか」「ワークシートの内容は適切であったか」「児童生徒の反応を生かすことができたか」などの視点で自らの指導を評価し、指導方法の改善に生かしていけると考えます。